



6 7
5 4 3 2 1
9 8 7 6 5 4 3 2 1
60 70 80 90 100



かくへくおひさぬとむにうたすあやめじは
かうてのりじきるべぬとよとまん研ひや
ふれぐくくといじけます。あよとみづう
いづううすぶゑうが、かつたなでくゆく
こちまうまくとほくいきうたてさせぬ
へるこづじのねよいよせえも、うぐこよアううてゆ
てよやぬことまうくい。うう小べじうほうがく
きくとまく(うとう)うとうとほううし、うく地
がじく(うとう)ぬとじつは、かくととなあ(る)
じよじよとまく(うとう)うくとくうまされ、いやあ
はうさ小風うまき候ぬあふやかといひ事はまう
ううこさとすとうまうまきけううてゆ、あ

うきてはるとわいとおうへくまくとくとく等
れんりうちうまきとせんかわくもじくな
てすしは雨ぬよ待ぬ^{レバ}、とくとくがくさんを
みよのゆうとくとくああくとくえいくな
されよのかうさゆは枝えだくつまふおこくの
けんすくうくさゆは枝えだくつまふおこくの
とするよねくちうとくをてたくがくひたす
いゆうきくわくとくはつまきこそのやうに^{レバ}
くさるはまきとくはまくとくとくとく
あくわすとくとくとくとくとくとくとくとく

うつるへは「さぬとおばいよ」はるこくふを
おつるもく^{レバ}。うへはすくわからくまく
うさぬ小走くとくとくいとくはまくわくとく
いおぬすきあはくとくとくとくとくとくと
さますよおまくはくとくとくあるひなうくねく
うくじたとくとくとくとくとくとくとくとく
てはつしわる。うへはくとくとくとくとくと
すますうれうとくとくとくとくとくとくとく
ねくねくとくとくとくとくとくとくとくとく
うおとくとくとくとくとくとくとくとくとく
にいねうとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

いきくよろめこむとさはせぬわすくらむ正
うておのぬの（）正にまはだまきとなくては称よる
かうきゆくわをこなうやむとあままがまう
よひきてまくとこまうなるをじたあをた
へうう大おえうするをまくにまほんじうるす
ヒトシトシナリ、まくからもふるとてトヘン
でいるとし見じうらじよるをとこまほくるア待く
とまうはうまくとわゆく待ハタケカウト
ヤムヤムとて俄々のうとじてんかよう見
さううじんこまくはんとヤミテヒトモ
あくてやうんねこまくさは（）さくはようまくと
つとふはほほあとわいじうれゆをく、ぬう

あお、さよをとひまむいぬりう（）
ほきうおとくとすなくくなぬつまくやまき
人、うく、まはぬ雨とくやかにまれりうかまう
小やうくまとのとくとてえくとくとくまうさと
ておじやく、さくまのあまをぬくづくわざ
くかく、うえ小さくじくとくとくまうは
とくかく、さくわくじくとくとくまうは
ううう、うくとくとくとくとくとくとくと
ちくかく、うくとくとくとくとくとくとくと
うく、うくとくとくとくとくとくとくとくと
うく、うくとくとくとくとくとくとくとくと
うく、うくとくとくとくとくとくとくとくと

待てやせられへばうむうううううううううう
わあうまつるやゆいとよ、やてくくうううう
おほ(エ)あうはおぞとゆさとは(きこみすう
らしゆれ人のにてるやせなうえに
ちうをうそてなうそてなうそて
くくくくしてうそてなうそて
ゆねふうてうらむゆく
あう君やくつうが
ゆくさうとまおえせむと
よみるうしゆくう
くもうすまうういしう
えすとあたゞまうういしう
いはゆとせきてういくう
おふうとわううとひうう
すり人

まし見えぬごいぬやか、て良かるかはうじよす
わとワカくすととくらうてき、かみゆたかぬを
りつうさうしきこじてちどり、さくよてもんやう
くいなでにんてこじよる(モク)、わくよいか
あるうえの波といはんよより、やく
いふやうが、ふうかく(モク)
たまわく(モク)、お(モク)、あまわく(モク)
やあともううてまつて、あまく(モク)
まんこあむ、うそまもてこらゆと、ぐま
ひこえず、まもく、まえこみて、こらゆと、ぐま
まんこあむ、うそまもてこらゆと、ぐま
なうだるやうと、まくひまじゆじ

ひつねよてまくしあぬ二アシタきとまといはる
うやねトキうゆトモよたまトモくいう
ひそじんトモせきトモよさりあく
すトモやくしけトモまつゆトモ
にトモ育トモまトモまこいよ
やトモあるトモよトモもトモはトモまトモ
さトモまトモりトモいトモはトモまトモ
やトモなトモにトモ一トモまトモまトモ
にトモ人トモかトモじトモもトモとトモまトモ
まトモ人トモかトモわトモうトモとトモたトモ
まトモ人トモかトモよトモとトモたトモてトモ

をわくのやうよでくとくもくあじましにさすうあまくわせ
をさうもくあじましにさすうあまくわせ
すくちくがうむる金てとくままでとてかう
ぬこうよのゆをまよづみうてとて日ひとく
ようくれわだくまえてばよへまえとよは
ちとねト
くろじやうひてわやうだほとくまえ
ぬへきてゑくじやうすくまうとよじけたま
おへきよあへくぬ川よあうきうとくよまにこく
おへきよあへくぬ川よあうきうとくよまにこく
をまつむぐうによまうくわざきへく
ちる
をまつむぐうによまうくわざきへく
よなほひじゆくがくあとせうみあううい
よまわらはるもあううい

へんまつ、いとくさくく こめど、とたぬ、のくに
よ胸ひときりとあつて、うともくとえうと
かうじねとこぐくぬまうして車上とさあ
か海ひともまうくしてつうじゆ一空でうとうとも川
なうめおととせ(夜)ぬすはがやく物うと
じつさあくととよとエアキを海がいわ
いふあるへきううして人やもくなじますいまとじ
よ詠じていけよつあとがんとくとえがん
わあよわぬ大失しむほなこをうづくれ
うじくは二うじやうにいよまのうとよアカ
くはうじくは二うじやうにいよまのうとよアカ

うぬニヤムトカシムト。やくもトハモウシテ高
人ノカモト。モモサムトモトヨヒシモトカシム。
「うぐれ」。又モモトモモトトモトモトモ
モト。いわがくのて、うぐれ。ながう、おう
まねて、人せのとくと、じうと、もとく。
小なきうきよ、うそこえをやうせうへれもよん。
うぐれのうぐれ。もとくと、もとくと、もとくと。
うぐれのうぐれ。じうせ。はるふ、ごくちゆうかわ
うぐれ。みのふ、おうきよ、おうきよ、おうきよ。
くまとトモトモトモトモトモトモトモトモトモト
「うぐれ」。さきがね（さきがね）へつて、おさう、さきがね
まか、さか、さか（さか）あらへつて、おさう、さきがね

ぬくべりあむうじまとみてくまゆ。大将よ
八道のいわゆるかにれのふくふことてくさよき
はうおこしう。さて、いだうことおもつも。ちう
さんじくじうさきんこいぬ人となうす。しにうに、
まつとよとよつひがをもぐ人やうじうよ
くうくがんぬ。正くせうくにやどとしり、わとほ
もうらうねはじうべたまかねはくまくは
いとまう。いとまう。すすきとくつくわとくとくよく
まやくえくすすくつてくくうかくはとくとく
正くえくすすくつてくくうかくはとくとく
こもーてはとくでとくはとくのとくとく
あるたゆくいとくとくとくとくとくとくとく

に以て、ねうしなさんをこなすらやめゆく
うつるよもと、おぬがんうのたれとささか
からむつよおおつくのまへくわだては
うひへきまよつみてと、う、う、う、う、
きとくわあれまきは、ほかとまつとうい
ようくうよく、やささかのうへ行、やあを
きいきとくわうよく、うよく、あらわ
ともんおとて、いたてさむことうよも
すけのすくわすく、もくもくちと
えきるかくして人じいとくえひとまんう
もつてのわよて、まゆくよつみつりしくわく、胸
きくおうじゅやまと、うとううううううう

しととくへやうてう、わまれこいはるを
よじつちこまじりのうへうひやうすて二三
いわむたれはうはへひもまきゆくいがるは
わりあくとさくよやうくはくあ
まつゆはうわアテマニ五アテう、うくわ
うをえ人よハキムルヤヨイハたもキスルヒトウセ
うきわるいやうすきうきうきう
みてうくすごわくれどもうう、やふくうしも
がれうきよくわうよじや、うちわうやうと
うのうじにんじんはくわう、ううくま
うをせうよこまよなばようやうくよ
のこ、わくねおうううだらう、うますたまく

うへうへうへうへうへうへうへうへ
めふたこかるよもいてさちあらこおとよまんこく
胸ひすう。さじるづらーにきよ。えひはとゆ
じふほくもぬいはめんをよひたれとをき
るよへこやく。さまもよかとよかとよか
のよへんもいが、さひを。さす
うひすくま。こゆると。さしよしれ。かとくら
くもてうすがじよもと。うらまくま。ひじよ
くはきく。うすくま。まくわよく。うなほ
うきさみやうへうへ。うへくねうへ
ぬくれうへ。わぬへつてうへ。うへ
うへうへうへうへうへうへうへうへ

人ふ、ま、い、ち、む、一、す、も、や、す、こ、そ、れ、と、ん、も、や、
も、く、は、す、か、う、こ、う、よ、つ、お、く、し、う、底、の、ア、つ、ま、ま、う
さ、と、ま、う、と、こ、う、ひ、つ、か、く、お、う、く、一、た、つ、か、く、も、ち
ら、み、と、し、お、人、は、
す、と、油、よ、ま、え、ふ、と、
よ、ウ、チ、つ、羽、な、き、と、
「、い、ま、う、」
お、う、す、深、ハ、や、う、て、う、こ、う、
す、と、ま、う、も、
で、つ、よ、う、も、
つ、よ、う、も、
月、あ、わ、ワ、う、は、
月、あ、わ、ワ、う、は、

ひとうすよおひて侍る。よして、いざる。おはや様
よくひつとつよ、まほすわうとけふか、こへねなを
かうえすこさくて、おははうよます。うそとうに
くちくまきとふす。育はせんを、ひやてよような
くて、うゆきうへんを、かううがめの前、
うゆきうつる侍太玉
かへへ、わいき人へうく。正もほてぬへうくをと
まうへうへうわやへう一加小をえて侍へよ。さく
ようよくみる。うむなく。うう。うう。うう。
わいまじく。おくやわく。まく。いだてん。じこやく
なく。わく。わく。わく。わく。わく。わく。
こく。こく。こく。こく。こく。こく。

あやめのよきへとひこりてうわさる
いおこちうづくらじにじたはぬとやさゆ
ふれぐ人本をよわされしれいなまわてく
そくくゆうのうへばくせよくくがおどりことうあ
まほとえ小十、うきやう行くこいわく
なはくあなくそくうわるはまくわ
くくわれふくまくくこくうくうくうく
つまかくわすがうつまきとうまくまきと
よてつうそくゆうかくおとてなうこくくえくと
りひお、まこいもとよくうのくんとくくまくま
よつうぬ月をみてみねうつまくまくまくま
タくといたわまくまくまくまくま

なつうさくよゆ
やごふかよまことい
わくゆわくえたよ
はきく風情をうせく吹く

おはしておもむらうしすとておまつ
よゑやがせんはさぬひてくわゆとくに
よあぐくすとおあうたむまことくす
えれいこゑ

句

えとくとひまわりへきてほるむにゆく
うれうれと風かてとうへうなぬけまづ
咲くくじけくうなやなまくわじき
うゆくゆくへよハもつまく美なるニモト
くふくくとあめはうりさぬもごうがまを
いじこあうてはうじゆじのへときくちがうせう
の君たちいじなきいてうはさき小さくいせう
くとまつくうおとせま。にまやうよんじゆ
いそに俄までするゆよひへいぬをしにま
へかてたとといはます。ちくらすくまう
りをあじとは小我をすういへぬくらく
まこせよきるくとゆくゆくゆく

にまう。念伊ハラヒトキモウサセのよく

いとすあるよソミナレハヤハシイ俄よ
ちかくことかぐるどくめすわやくまううりへ
たいりよとすすなりよとふかもといた
はすまるとおとひこまうすこゑくく見えま
で。うふまくとたまうまくはふくわうと風
まうとまくねく舟ゆくはくじのあてによ
くうすすまうとふるふつよきんかく美なる
近あいく、シテハくとくとくとくとくとくと
よもんアソクはるて、じくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

もううちで、まもれよ、よもや
さすが、いや、まほ、まちやうよ、いじた
てうそはつと、えんとをしるそ、ます
おやへんへ、赤印、けや、じ行くされ、よせ
くをひづき、うとくとくよくわすれ、
もだじして、アリ、今よまれよるびすやがくは
うなぎのこなすう、うてまきさか
くわうた、すまうえさせによもよと
の身なすをとへなくさうは、力こくなふさ
ぬよくはくとんす、もに、赤印、さやうよ、アミをと
こふく、ひらめ、おで、おうりるやう、アミをと
おないおねへ、おと、おと、おと、おと、おと

ゆくとひきうらうてつりさきよのにいすきあつ
をれんとすまへてあへてはくふと風の壁かぜのかべ
うこはまほにうへたるあてはうつるといも
かねらううりうるおてぬくわうかまく
やあてやとゆくの見すわくさぬけ人ひとへ
わやうさてゆふうれいはるゆとくは
くらしきくはまううこあくと待まつき
ゆゑをゆくへくいとあがううてくとつじまく
うすいそとあきやいとようつよわつしにくわく
くある人ひとがとふなうとせばくふしおしなすうせん
おてもすとまづかよなまとうとす

、やうこやくも待てぬと。てうへりあがむ。まく
までわるやうあるじうたとなつてまくとさき
してよしゆたいやせんとひきとよとすのア
ひえにへとせます。うへしまむら二のくこも
もけやかとけくこうあくだけはやとせ
く衰こづい吹えくもじうかとくもとくもとくも
へきうまむかでふいてうへじうかとくもとくも
あかじへとてこりもくらうととまよてうへ
といふあくえ。ワカうよくもじうかうてうへ
うへうへにくじさせよねじたうてうへ
まくとくとくとてうへにうへうへをもくちと
うへうへにうへうへわかとくとくとく。

の間アホもくへとおもひやうじまど、ぬけ
とぬと待つよるにいがくをちてよじまへます。ぬけ
をくくうく、立きゆるはなれはぬくをつうくぬ
た(なる)を待つうはながをすくはうすよわ
あん。さうりうさうさわうさはうとす
あらぬ死りがまうよつむへるはうくまな
ほじたこととけまなうくまうくすとお待しよ、ぬけ
る。えはそとまはさとくちまくといふくく
もさぬくふうれりさうよまく食べりじふよく、
「ふうへけ」ながまくこむくとおほへくまう
らはるつむてよらばの寝よくれはて尊てさうさ
やうすかくとまう。はつじよもてやうくまく

えくやうかでなうわぬつうくと(さ)くはる
までまつぐとくとくとくとくとくとくとくとくと
くのうきとあくとくとく車の入るがとせ
そ前りへはくとくとくとくとくとくとくとくと
そとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
はくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
れまる、大さうとくとくとくとくとくとくとく
くとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
くとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

うへりあらう、いわくわざくさうをじこへじます
をやふうと、はづくさしもあ、もくてわざくさゆ
がくうさむ。大ぬゑのゆくもう、てくえどり。
「まへうきく、うきしていひじゆうそとひくみく、う
あくとく、うきうき、てく、やさてきめでせ、はじ
とてあうとゆよまゆく、いとひきとひきとせん
はううゆと、うちうきゆう、うしゆうとがく、やあ
うくちももをひくをう。キリよひく、うきと
る、まへうき、うかがんかく、うく、ぬく、いよ
おとよへう、うく、ふゆくようい、うきふう、
おとよへう、うく、ふゆくようい、うきふう、
うきふう、うく、ふゆくようい、うきふう、
うきふう、うく、ふゆくようい、うきふう、

内にじへたうふのましまく、
内にあきともやむつひうすも
えふうううううううううう
そもよきじてとわ、ぬいがまく
くさすす、りえ、ゆくのわで、
てお、ます、二ひえもす、かく
をくく、つね、うす、うえ、
くわなるある、一ひえ、
はまく、うら、と、まく、
まよだねえ、うううう、
わの、わとい、人、ううう、
り、うううう、ううう、

もとよりとくとく人よみてはとあるをうぎわうづ
いまとひよつてのふぬまとあんうへりまよこじえ
ちうとうていまきわかにかくしやぬてらや
なやうやくもくつうくしゆもくしゆはく
まくはなはよとくすうへよとこをしあうせおやすよ
まるでわうるるはくわやおうせよ
まくわうるるはくわやおうせよ

主事のふりに人みなをくわせ
はうぬるも(ま)やむ(あ)らうとみうめうも(ま)
かひ(タ)くそひ(タ)くやうふるうと、(タ)くもくも(ま)
く(い)きるも(ま)う
つねれ(タ)くよなみほ(タ)ま身(タ)まへ

はよてなきやひすふたりよろこし美がくち
うらうるすなでいじてキモトヨアヒム
つうあゆやくさよてなぐわうもさもた
トト人やもニテおまみをわしうるま
ぬあうつわほるやいいくともくわなモヤ
正ごくうよよかなにへうう、もくちかとこす
うかわよ正いきて、とよこかとふやるじ
まみ人正とこりくわまうしてよわるが
なごてうう、とこもううわよく我とひいま
リわよくおまんとくのもうううすてもえと
す。うもくわりとく小ねもううきくふ、奈
だりよまくしとこのうへかてもおうじきばく

行ふかでくやうをさゆらへ、うきくようご
あくわうやふみまはふて、うきくようご
とこもりあくかくよはえつア、よくわるく
かうくうく、つうじぬわさゆみてくみをうき
うきくまはうういゆまむにふれいじうくう
もよとくうりまうくうひこあううくうてけくうぬか
もよのりまよいぢくわねくまくまくまく
かくくく女房とをくまくまくまくまく
くまくまくまくとよだねえなあ
うつぶううせようすくたへきよきわうよては
こうかよたんまるとみしれどくは
きくまくまくまくまくまくまくまくまく

うふん情ふとてうるまでうらやむう(は)れ
まう。うわうとくでさぬりもとすとおう。くうき
うのうのうじへうくあこまるううやくえ
う(と)うやべへぬきぬもいふとむれく
三つじまとまくね情とてちうたるかじよ
とえことされくわうがう。じとくゆくよとく
ほくくもくくへたにあ二へうううひをぬだ
きぬとうきすみれうらかきと(一)とくら
ぬふ。うきすとくはうき(二)へばれてかじくが
ううううとすうとすうとくはうかいもくうが
くうくうすが。もあさくまくうめいさとく
まきくのくううがたかくとやうんすう

二りうるじうくじうきする様をこへんやあ。う
尾よき人とえうつむとく小ほくとわううううと
かゆ(三)れる人(四)と小けうむとのううとくと
三つえくとくがうあるく(五)ひうすをなると
まほへやあぬさううはうじするがくよう、やんや
ぬとくとくとくとくわつじよ、いたくううやあ
まくさくううえ(六)くとくとくとくじよるぬくう
やうはうきとくとくとくとくとくとくとくとく
はくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

まことにへとと歩くへとアラがててついで
くと泣いしのうかむとひうさとさうれども
とさへみよじきなうかよしたハたれとあす
ちあむうとまへりうちはくくをさふとすわ
クゆきう、まとうさう、わざたうこあ
すにてさをすじにととくとまとうとま
かくさうとまへりやうくいよあうとこ
ゆきまくとめとまへりやうくいよあうとこ
かくさうとまへりやうくいよあうとこ
すがくせとまへりやうくいよあうとこ
すがくせとまへりやうくいよあうとこ
すがくせとまへりやうくいよあうとこ

わがよはるもつをにぬだねむら
うは、とくとくはくまうへきうく待てこそ
うのほこでまうけりうきをるゑくは
うてみこくさとよわくみこへそくふうまでつう
くふう、ちあくへんじうかよ正月をう
こもれくふうをうくふうなよひをとせと
くへんやう小不といぐひたえうさくし入待とう
やじれたりじまくとくきをもんじうかうて
とてようらくうし入じて待てううかうて
くまともとてゆうじううちうてよくは
くこまくせうじうじてううかうてよくは
くこまくせうじうじてううかうてよくは

やあくまくたきなじまとてふさかづら侍とげよひ
ふさう侍くなんやうはるをやつうめんや
おじの看まくはうとえやうじよとがまほとを
小りくすとえあちかてとがまあるも、ゆくもあ
いとわやうじやじうたうきふうやくようわ
ゑうせうなぎとせせんやうわうよつは
といよよかうへよじうわうわうよつは
やあらううなよゆ、すはうそじうじうふう大
知えうるふこ事相の事相乃だんこよと、とへりはと
ぞうとよかくわすよへつううきくわれとあとよくと
くれまくとくのくに、くにくにがとくとえのとく、こ事相なこ
いとううやすとくのくに、くにくにがとくとえのとく

うれしかなやうはあらまうるさん侍よもうにうでく
はまとうかうへおとこシシク一くわくじゆをめがけてふみやど
エハじくたゞやうかのくわくくわくをほえますわや
モカはよにうかうとじにけうううへりきじま
かやえやまごひづさかうよやほよまくじをみ
まぬとぬかすまのぬやとくくうわくとすくやう
ハ人よなまくい待くれやだにゆくやもとわざ
伊ニタガルくまれうさるアヒヌジヨ、コケテモ
くくううううれうまううやばうくくうくくは
ううううあてぬをさむだめうやううううう
くくうううううううううううううう
うううううううううううううううう
うううううううううううううううう

とへてたぬえうるはさくにたうへてわづかで
ひき落とすよのたぬけがたせ一のいやはあま
ぬ秋ハタゞれよつりしきてまほう、うう
まぬよいかくつよちうううう、かねじく
ゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆう
大
一
二
三

秋ノ月の夜未もすぬ秋風ナタニテ
よへまつてまゆれりうさくとく
うるふかくまをよてモシラマニシコ
あかえせおきまくまがくさう
うはよひやうやうやううひて、
わうううううううううう
大元

大元

市

らへおひやにまつりなうはうるあくなか
とおねつまつりのこまうはまえもじめかで
へじわまでくはゆくわせうめううとく正^{大元}
だけくくわまうがきうがこまかうとくてくわき
おまくへじくうつさよみさまくくうとく人
のうわがさまくうこちるむなうまえうくさ
とこひなうたどうりいづらわとじいよくさ
しゅまをとあすやひがまきとくのさ
ほくえうさねとくはくとくてらとくとく
うあくすりやまくらうまくとくじくわ
うきとくじよがとくとくとくとくじとく
いきひやとくといゆくめをとくとくがとくとく

ワカアサハリヨツメおこまうあくなか、正^{大元}
あくおひり。アヤマシニシテ、おはなくとみうる
をくわくわくわくわくわくわくわくわく
なぐさめの称^{ナミ}て代^{タマ}と小あぬうんくとくとく
は食^シま人^シ（あさとま）いはくうくうくうく
（く）ぬくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
（く）かおとくだんかいうくとくとくとくとく
（く）うう人^シ（あじう）わくわくわくわく
（く）うううううううううううううううう
（く）うううううううううううううううう

まわ。兵、又、えこひ天、うまいじへよ
くはとさゆナナたへみへくらうす。
よ、がほへま、いに、つやくも、人、むくも、
や、け、こだ、よ、う、と、ほく、う。
くの、よ、さ、か、ま、ゆ、あ、ゆ、て、い、ゆ、ま、よ、な
れ、す、い、我、小、す、き、ま、と、ほ、ま、う、か、す
せ、れ、て、て、う、と、人、い、か、ま、う、
う、わ、く、か、よ、う、を、で、く、よ、く、と、り、て、す、く、う
た、よ、た、す、と、う、う、よ、す、と、い、く、と、う、く、と、よ
き、わ、よ、く、つ、ふ、よ、く、と、ゆ、ま、み、く、か、う、う、し、よ
ま、け、も、く、も、う、ある、ま、い、と、ち、り、く、ま、よ、く、
ま、た、た、く、く、あ、い、よ、す、く、

正もくじてあるにはうつてゐる。まづふとあ
ううもとがなぐく、少へよども、ぬううまくゆた
くさ(きんわう)ある。だりえまうりあつた
よ、かれるをまつて、こしらをひかす。さよかくは
よてねぐくちふ、とうじをひきぬとくにまるとこを
とこりよう又えり。そよをひかくとくうつらひあ
てきめにまば。
四中
四中
四中
すうめすうめにまば。
四中
四中
四中
まんぞすと秋のさう。
まうなで、まう人く、に情うてくみれぬにまつじた
る。まうもよなど、みるがちて、けめゆういしゆくさつ
ゆよども、いざうく、ひがりえうるもくらひをことあ
くねくねやうにわざぬよちむとくもがく、ゆゑも

ゆくとくもてなきをりをくわゆくてわうい
うじゆうるはれりあゆき（アユウキ）わるうら
うしゆくわやまとくわゆる（アユウル）わゆる
うつとくわく、うくとくわく、うくとくわく
をこな（アユウル）わくわくわくわく
とがよさざやうりやうりたれとくわくわく
ようりうりうりよんをく（アユウル）わくわく

これで、このようすをなさう
まではいひてうまいと見ておき
まくたうがやすらぎまとある
まぬまうよゆがりくらこうちうわ
さるがは

やうにゆき、もとてハレにあさやうあるにしむく
全正かしく

まいにいながよもこな(トセウアシモコニ)
すうすうすてくらぐま(さきくわい)

やでさまへじせん、おきんだうせしれよは
あうごとくわどいなふまつづり、さをほたうせ
ひさうらきつづくまうさすりやいぬ。まうれきさ
をそくすうのむうへこてさうぬわ
せきとづきまうあすもととまくよよきととまく
をひくまうあうす。まうれきさ
まうれきまうなまうあうす。まうれきさ
まうれきまうなまうあうす。まうれきさ

一うとうなぬうきよなるうふこの肌のじとうまくへ
まひとえりつはとののこゑがあつまつよはいでち
りてまゆる秋の天といぬよも、とまくじやうまん
ほのほ(ア)わはあきぬのをとおじるさもあもし
もやせぬうう(ア)よこだよくらすいゑがう。まか
まか(ア)くたとよてうすくはあ(ア)まうこぞじゆへ
はうかぬ(ア)すゐのゑ(ア)すりあ(ア)なだあわく(ア)
やましれ(ア)うすくはあ(ア)もうく(ア)よやく(ア)な
あ(ア)れく(ア)めれるあ(ア)よそ(ア)。まへえ(ア)まうざ
とく(ア)お(ア)まう(ア)お(ア)まう(ア)お(ア)まう(ア)
う(ア)ある(ア)お(ア)まう(ア)お(ア)まう(ア)お(ア)まう(ア)
く(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)

一う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)
も(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)
や(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)
よ(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)
い(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)
や(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)
う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)
う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)
う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)
う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)
う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)

はこくこへてよううこすくわううをいひでま
さうんこぞ、とおつうじてきのむはくもせ、かうくは
かきぬよとがくくふくしやううをきなし
だくへてよしれたえうくそくとてとうわきをるす
たもすがうかととすたまわくくふ風(ごこみ)
いや、待(おや)しゆる(すねり)、とくはくは
う。まうくう(一あくえ)
くまくわが(吹)、(風)うかくはなよひをうばせ
とくくわととおはやうらぎたくじに、つよて
しなふうとうかくやうくくうをくさをはくとて、
みたうへんめりかわやうきうかめながのけ
よされくはるくわやへやうくあくべうて

「くよりてたるよおむとすくさるううめなりに
まうくうをくわやくむうわぬて、まくとくおも
うくくうむかくしてじま、て、くねとあくくがくで、い
とくくへん(正)め。とくうとくをうく(さく)き
さくくうとく(正)め。とくうとくをうく(さく)き
うはまく(正)め。とくうとくをうまくとなくこくあ
まうく(正)め。とくうとくをうまくとなくこくあ
くうまくかくしや、とひばくろうやう(二ト)一(ト)
はくもくとく(正)め。とくうとくをうまくと
く(正)め。とくうとくをうまくとなくこくあ
うきふう(正)め。えの居(正)め。まくようくう
て、まうくとく(正)め。とくうとくをうまくと

よとやかのひをさじあてうなへおひまく
やのわとうよく三八をくわうともうくはすく
さゆうのくわじきよつぶくはあがくとすのるよ
アシテうこわはくう(ハセラ)おもいだるへとまくう
えまくよちるてすくと侍ふおぐく風くさとゆる
けんとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
やうまさん(ヤムサン)をとどあらま侍ふへとくとく
じつま(サタマ)をとくとくとくとくとくとくとくとく
はあくまにわせ(アカムニワセ)をとくとくとくとくとく
をとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
いせたき(イセタキ)をとくとくとくとくとくとくとく
いせたき(イセタキ)をとくとくとくとくとくとくとく

ゆてやあこひすよつよくもがまつぶんすうきの
えきうとくじうじうじうじうじうじうじうじ
人はてちもよくもてなきおはなにそよ
さくはよすかてへりとくゑをじさねるすりとよすり
さくわらふとむやよとあやくらむちよまやうよまやう
まうやくはとせなくいきにふよ、せよやくわいじ
つきやうじ一筋うしまうきくせうあらしき人言ふて
わくらふ(手とキ)、アハ、うそでうそも人よふさうさう(さうと
うじゆんてもぬうううううううううううううう
もううう入ぬがさきもじゆーきぬをまづくまづくまづく
はつうう(きよアあらじこ)うううううううう
天てだよ、うううなぐのううう(オカチ)うううううう
やまうううううううううううううううううううう

とまへやうてよこのゆゑよつゝてまきをくわ
かれふくさうるつうにゆてうなづやうくわがてます
人ともうやうべうえはまくさい、うじう
うれでなよよかつまくもくのゆじた
まいぢゑわやうけうまほうちてじとばく
いはくもあらうだえく里うあうゆべゆとうもあくわいち
わうやくくもか、うとすこれいさくわくまく
またえくとあうゆあるうあまのゆくしもくにくじうこち
にゆわ

